

日本のエネルギー政策を多面的に考える

東日本大震災に伴って発生した福島原子力発電所の事故によって日本のエネルギー政策は再構築を迫られることになった。大震災からの復興と共に、長く停滞する経済からの脱出や低炭素社会の実現など、日本が解決しなければならない課題はあまりにも多い。その中で、われわれがとるべき選択とは何か。各界の論客をお招きし、熱い討論を多面的に繰り広げる。

日時：平成23年11月25日（金）駒場祭初日

午後1時30分～5時（午後1時開場）

場所：東京大学 駒場キャンパス 数理科学研究棟 大講義室

〔駒場祭エリア外ですのでご注意ください〕

参加費無料、事前登録制（申込多数の場合抽選）

参加のお申し込みは <http://www.komed.c.u-tokyo.ac.jp/festa/> よりお願いいたします



講演

13:30



原子力事故とエネルギー・温暖化政策

山口光恒氏（東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授）

慶應義塾大学経済学部卒。東京海上火災保険理事、慶應義塾大学経済学部教授、帝京大学経済学部教授を経て現職。放送大学大学院客員教授。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第3作業部会リードオーサー、OECD貿易と環境合同専門家会議日本政府代表、産業構造審議会地球環境小委員会委員、内閣官房温暖化中期目標タスクフォース委員を務める。

13:50

13:50



太陽光発電の利用拡大に向けて - 課題と展望 -

瀬川浩司氏（東京大学 先端科学技術研究センター 教授）

京都大学大学院工学研究科博士課程修了。京都大学工学部助手、東京大学大学院総合文化研究科助教授を経て現職。2010年より東京大学先端科学技術研究センター附属産学連携新エネルギー研究施設長。内閣府最先端研究開発プログラム「低炭素社会に資する有機系太陽電池の開発」中心研究者。

14:10

14:10



エネルギーシステムインテグレーション-日本の電力需給へのチャレンジャー

荻本和彦氏（東京大学 生産技術研究所 特任教授）

東京大学工学部卒。電源開発株式会社に入社し、直流送電、電力系統解析・計画、太陽光発電・風力発電・直流送電用自励式変換器・水素エネルギーシステムなどの技術研究開発、設備保全業務高度化、技術戦略などに従事した後、2008年から現職。電力事情に詳しく、エネルギー技術戦略、スマートグリッドなど多彩な研究に取り組む。

14:30

14:30



エネルギー基本計画の見直しに向けて

飯田哲也氏（NPO法人 環境エネルギー政策研究所 所長）

京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻修了。東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了。現職はNPO法人環境エネルギー政策研究所所長。自然エネルギー政策を筆頭に、市民風車やグリーン電力など日本の自然エネルギー市場における先駆者として、国内外で活躍。中央環境審議会、総合資源エネルギー調査会、東京都環境審議会などの委員を歴任。

14:50

14:50



日本の原子力政策のあやまち

河野太郎氏（自由民主党 衆議院議員）

慶應義塾大学経済学部に入學後渡米。米ジョージタウン大学卒業。民間企業を経て衆議院議員。政府では総務大臣政務官、法務副大臣、衆議院外務委員会委員長などを歴任。自由民主党では副幹事長、幹事長代理、政務調査会副会長、神奈川県連会長などを歴任。福島原子力発電所の事故以前より日本の原子力行政の問題点を指摘してきた。

15:10

パネル討論

15:20

「エネルギー：日本の選択と行動」

17:00

パネリスト：山口光恒氏、荻本和彦氏

飯田哲也氏、河野太郎氏

コーディネーター：瀬川浩司氏



総合司会：松本真由美氏

（東京大学 先端科学技術研究センター 特任研究員）
上智大学外国語学部卒。テレビ朝日報道局を経て、CNN ニュース、NHK 衛星第一放送ワールドニュースのキャスターなどを担当してきた。現在は、環境とエネルギー分野での研究教育活動に携わる。